

スローガン

地域社会福祉は
地域の人で



四福地区社会福祉協議会 第14号

発行所

倉敷市四福地区
社会福祉協議会
発行責任者 佐藤光輝

今後においてもいざという時の災害に対して、
高齢者や障がい者、子どもたちの避難など地域による対策が急がれます。



倉敷市の真備地区では、豪雨により小田川の堤防決壊、家屋の水没、未曾有の大災害となり、いまだに避難生活をおくられている方々も多くおられます。この度の災害により、お亡くなりの方々に、

平成三十年七月 西日本豪雨
真備町水害 濁流住宅のむ

さて、この晴れの国「岡山」でも、昨年の七月豪雨では未曾有の大災害となりました。昨年は、日本全土で自然災害（台風・豪雨・地震）により甚大な災害が発生しておりこの倉敷市の真備地区では、豪雨により小田川の堤防決壊、家屋の水没、未曾有の大災害となり、いまだに避難生活をおくられている方々も多くおられます。この度の災害により、お亡くなりの方々に、



佐藤光輝

本年度より、倉敷市四福地区社会福祉協議会の会長を、務めさせていただきます。前会長の加藤さまは平成十六年にこの倉敷市四福地区社会福祉協議会の誕生にご協力され会長として長い間大変ご苦労され多くの事業を計画実施されました。また、今後も相談役として活躍して頂くことをお約束して下さっています。今後ともよろしくお願ひします。

ご冥福をお祈りしますとともに、ご家族・関係者の皆様に心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様には、被災された方々へのお見舞い申し上げます。一日も早く元の生活に戻れますようにと念じます。この災害には、倉敷市より四福地区社協に支援活動とし、福田中学校に避難された方々への支援活動、ボランティアセンターへの援助要請などに参加された方々には、急な、お願ひをしましたが早く対応を頂き有難うございました。

また、今後にもいつあるか知れない災害に対して、特に高齢者・障がい者・子どもたちの避難などの対応が問題となること予想されます。特に高齢者については、自力で避難が不可能なことが想定されます。高齢者支援センターと協力して対応を検討したいと思っております。今年度の活動については、災害の対応などにより一部中止になりましたが、四福社協の今後の活動においても、皆様の積極的なご協力のもとに、主体者となつていただき、地域に根ざした活気ある活動を展開し多くの活動成果を上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



装備品

- カセットコンロ、ボンベ、ナベ、ラップ
- 携帯電話の充電器
- 食料(アルファコム・カンパン・インスタント食品、スープ、レトルト食品・味噌汁・ビスケット・飴)、飲料水
- 簡易トイレ、風呂の残り水、トイレトーパー
- 懐中電灯、ラジオ、ろうそく、マッチ ●住所録
- 毛布、寝袋、使い捨てカイロ、タオル、雨具
- 洗面道具、ポリ容器、バケツ、マスク、下着、オムツ

あなたの「防災対策」していますか。

災害からあなたを守るそなえ…

- ※防災の基本は「自分の命は自分で守る」
 - ※ライフラインが止まる。
 - ※110番も119番も繋がらない。
 - ※消防車が来ても水が出ない可能性がある。
- など、誰かが来て助けてくれるだろうという甘い考えを持たない。自分の身は自分で守るのが鉄則。家族で話し合っておくこと、個人データを書いたメモや写真をいつも持つておく。

第11回 敬老のつどい 9月17日



文化部長 遠部 寿美江

晴れの国岡山で、未曾有の豪雨災害が発生した。そのような時、例年通り実施するか否か協議の結果、前向きにと踏み切りました。九月十七日(月)開催受付に義援金箱設置しての会とした。一部は式典、国会議員二名、県議会議員二名、市議会議員二名、社会福祉協議会水島所長、全員の方より祝辞を頂きました。「人生まだまだ目標一〇〇歳、明るく元気に」と、また最高齢者五名の方に記念品が贈呈されました。二部はアトラクション、初めてで新鮮だった腹話術、子どもたちの暖かいメッセージと箏曲演奏会、会場が一気に和やかな雰囲気になりました。格調高い日舞、水島署による特殊詐欺防止(DVD)恒例の岡山弁での交通寸劇等、笑いの中で幕を閉じた。消費生活学級による展示は力作ぞろい。クラフトコーナーは人気で大盛況だった。帰られる際、参加者全員に手作り赤飯を届けました。「今回、夫婦で初めて参加をさせてもらったけれど楽しい一時でした」との声を頂きました。最後になりましたが、豪雨災害により亡くなられた方々に哀悼の意を表します。そして一日も早い復旧、復興を祈念いたします。



退任のご挨拶

平成十六年倉敷市社会福祉協議会水島事務所管轄の十三小学校区の内、地区社会福祉協議会を最初に立ち上げました。当時、水島事務所 岡本所長と市社協 松尾会長から「地区社協を創設したいのでやってくれないか」との相談を受け、何が何でもという間の月日の経過です。この度、会長を退任し相談役として残させていただきました。地域住民同士お互いが支え合い、仕え合い、助け合い、より善い地域づくりを目指し、「住み続けたい四福地区」を合言葉に邁進してまいりました。この間多くの方に見守られ、ご支援、ご援助をいただき、何とかお役が全うできました。この間多くのお陰と、感謝しありがとうございます。連合艦隊司令長官 山本五十六さんの言葉に「やってみて聞かせて、させてみて、誉めてやらねば人は動かじ」と併せて「話し合い耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」を自分自身の心の糧として今後も地区社協のお役に立てることができればとの思いです。本日に長きに渡りお世話になりました。ありがとうございました。

加藤 正之

栄町 にこにこサロン 活動の紹介



私達のサロン活動も十二月で二十一回を迎える事が出来ました。色々な制約の中、会費は百円、お茶請けは同じ物であれば安価を求め、数不足時は役員でカバーなど楽しく運営しております。活動内容は四月に計画書を市へ提出しますが、何時何を、誰に依頼するか継続していく難しさを痛感しています。物作り時は、物資の調達、前段の準備等少々大変でした。例「ペーパークラフト小物作り」では、牛乳パックを水洗い、分解切断。例「リース作り」は薦取りからリース型にするまで時間を要しましたが、飾付けのみ会員さんにして貰いました。例「荷造り紐でのクラフト作り」の時は、サロン交流会で展示されていた北地区の物を参考にさせて頂き、尚且つ民生委員の

お知らせ

四福地区社会福祉協議会

まごころ弁当

平成31年3月14日(木)

お一人暮らしで70才以上の方々に毎年友愛訪問をさせて頂いておりますが、今年度も下記の通り訪問を兼ねて「まごころ弁当」をお届けします。民生委員、愛育委員、町内会役員の皆様が同伴させていただきます。



あいさつの輪



相手の顔を見て
元気なあいさつ

始めた頃は、自分から大きな声で挨拶ができる子もいれば挨拶がなかなかできない子・恥ずかしそうに挨拶する子・眠そうな顔で挨拶を返す子など様々でした。

「相手の顔を見て元気な挨拶をする」という基本的なことが、うまくできない子も多くいました。しかし、高学年が中心となって、毎日校門で下級生に挨拶をするという地道な努力を続けることによって、少しずつ、声が大きくなり、自分から挨拶をする子が増えてきています。

まだまだ、全員が友達や先生・地域の方々へ大きな声で挨拶をしているとは言えないかもしれませんが、「相手の顔を見て元気なあいさつ」をしようという子どもたちはどんどん増えてきています。地域の方々に見守られながら育っている子どもたちです。この活動を続け、学校だけでなく、地域の方々にも大きな声で挨拶をし、四福小学校全体に元気な挨拶の輪が広がればと思います。



「おもちつき大会」

毎朝、子どもたちの元気な声が校庭に響きまゝす。四福小学校では、生活委員会が中心となって、朝、校門で挨拶運動を続けています。

第四福田小学校 教頭 片岡 学



三世代ふれあいウォーキング

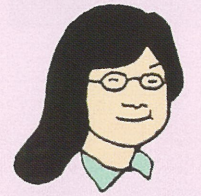
体育部 塩谷 勝信

今年度は、五月十九日(土)に行いました。お天気が気になりますが幸い天候に恵まれ、気持ち良い爽やかな日となり、役員一同安堵しました。児童二十三名を含め総員七十名の参加者は、四福小学校グラウンドに集合し、橋本岳衆議院議員、三宅和広県議会議員、時尾博幸市議会議長、数田尊典市議会議員よりご挨拶を頂戴し、佐藤会長の挨拶に次いで体育部長として、安全な一日であるべく注意事項の説明。九時三十分一・五キロ先の薄田休董生家を目指し出発。到着後、管理者矢部様より薄田休董についてのお話があり、生家に三十分滞在し、次の目的地宝島寺に向け「都羅の小径」をウォークしながら、地域の由緒についてのお話を伺いながら向かう。「都羅の小



径」は道幅が狭く安全にお互い気を配りながら向かいました。出発から宝島寺までは約四・五キロで所要時間も約二時間で宝島寺に到着後、早速お茶と「ひなたぼっこ」で作って頂いた「夕ご飯」を配り、それぞれ適当な場所にて体を休め、美味しい夕ご飯をいただきました。休息・昼食を終え、集合写真を撮り、帰りの準備を始めました。今回のウォーキングで、お互い顔見知りとなり親睦を深め、三世代交流も出来ました。次回も多数の参加者を期待しています。

万が一を考え地域の方々と一緒に共助の輪を広げましょう!



倉敷市社会福祉協議会 水島事務所 所長 藤原 裕

皆様には、平素より会員募集・共同募金など倉敷市社会福祉協議会の運営に、ご理解とご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年当市では、平成三十年七月豪雨による大変な被害がございました。その後も、台風二十一号、北海道での地震と立て続けに大きな災害が列島を襲い、多くの方が災害は他人事ではなく自分事だと、実感されたことと思います。

さて、今年の干支「亥年」に因んだ諺に「猪見て矢を引く」、事が起こってからでは遅いという意味のものがございます。災害発生時には、まずは自助ですが、地域による助け合いや声掛けの共助が、求められてきており、日頃からの地域活動がその礎になると確信しております。私どもも、皆様と共に地域の防災を考え、行動する年にと考えております。四福地区社協の皆様、ご近所の方々と一緒に共助の輪を広げながら、「事の起こる前に、万が一に備える年」にしていきましょう。



みんなの応援がとてもしゃなかった 心に残る運動会になりました。

六年 奥田裕実 藤岡秀人

四福小学校最後の運動会で、組体操をがんばりました。みんなで力を合わせる事が難しかったけれど本番では最高の演技ができたのでよかったです。みんなで心を一つにする大切さが、改めて分かりました。応援合戦では、私はチア長をしました。フォロミーダンスもしました。振り付けを考えるのが難しかったです。うまくできたのでよかったです。

ぼくは、応援団長をしました。カーブコールや応援歌をみんなで考えました。ぼくたちが優勝することができて、とてもうれしかったです。赤白対抗リレーには、六年間ずっと選ばれました。学年リレーではアンカーを走りました。最後は抜かされそうになったけど、みんなの応援のおかげでがんばれました。心に残る運動会になってよかったです。



三世代交流 野外スポーツ 焼いも 豚汁会食会



平成三十年十一月二十四日(土)四福小学校グラウンドにて開催されました。橋本岳衆議院議員を始め三宅和広県議会議員、時尾博幸市議会議長にもご参加いただき、体育部はグラウンドゴルフ、焼いもは高齢者部、豚汁は保健福祉部の方々を中心と行いました。参加者も総勢七十二名で、内児童は二十五名と多くの方とともにのひとときでした。焼いもは約百本、豚汁は、お替わり自由と作って頂きました。グラウンドゴルフでホールインワン達成者には賞品として、焼いもを渡す事も出来ました。倉敷ケーブルテレビに取材していただき、何度もニュースで取り上げられました。

三世代交流も図れました。関係者各位にお礼を申し上げ、併せて参加いただいた方々に感謝を申し上げます。

加藤 正之

三世代グラウンドゴルフに参加して

六年 楠戸 美結



私は、毎年お母さんと弟と私で参加しています。地域の方・友達とチームになって、教えてもらいながら楽しく回れました。八ホール回って、三ホール目で初めてホールインワンをとりました。とてもうれしかったです。最初はうまくできなかったけど、途中からうまくコントロールができていくととても残念でした。ボールを打つ、力加げんが難しかったです。今年も、ケーブルテレビも来ていて、運がいいなと思いました。でも、お母さんと弟だけテレビに映っていて少し残念でした。グラウンドゴルフが終わると、焼いもと、とん汁を食べました。教頭先生とも食べてとてもおもしろかったです。また、来年も参加したいです。

出来たてのお餅はとてもおいしかった!

おもちつき大会



暖かい日差しが差す十二月十五日、四福小学校の餅つき大会と年賀状作りが賑やかに行われました。今年も早朝より先生方、PTA役員の方、ボランティアの皆さんの協力のもと臼と杵を使った伝統的な餅つきと、機械を使った餅つきをしました。

白を囲み大人と子どもで協力して、力強く餅をつき掛け声と笑い声が混じりながら美味しそうにお餅が出来ていました。機械の方では、PTAのお母さんが、手際よく機械からお餅を取り上げ柔らかいお餅が出来ました。子どもたちは、出来たてのお餅を列を作って待ち、砂糖しようゆ、きな粉、ぜんざいと思いいい思いに食べたいものを嬉しそうに食べていました。

年賀状作りでは、用意してあったスタンプや色鉛筆、折り紙で友だちと話しながら上手に干支のイノシシの絵を描いたり、カラフルに仕上げてオリジナルの年賀状が出来上がっていました。

今年も、地域の方のご協力でお餅が出来ました。ありがとうございました。

児童部 川崎 瑞子

